

# 令和7年9月4日会議概要

## 第1 日時

令和7年9月4日（木）午前9時10分から午後0時30分までの間

## 第2 出席者

在田委員長、池坊委員、森委員、森田委員  
総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部長等  
《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

## 第3 議事の概要

### 1 委員報告

#### (1) 自動運転大型バスの実証運行視察（8月26日）

委員から、「8月26日、レベル2の自動運転大型バスの実証運行の視察を行った。今回は、別々に運行している3台のバスに対し、1人でモニターを見て対応できるかというところを視察した。令和9年には、レベル4の実証運行がされる予定という説明を聞き、大型バスの自動運転化に向けて着々と進んでいると感じた。」旨、報告があった。

#### (2) 保護司選考会（9月1日）

委員から、「9月1日、保護司選考会に出席した。京都は、22の保護区があるが、定員充足率は8割弱とのことで全国より少し多い状態とのことであった。また、全国は26パーセントである女性割合が、京都は3割を超えているとのことであった。警察OBも何人か保護司をされており、ありがたいと感じた。」旨、報告があった。

#### (3) 避難訓練（9月4日）

委員から、「先ほど、避難訓練を行ったが、事前に避難場所が分かっていることで落ち着いて避難できるという事前準備ができることと、階段を使用して避難するか、救助袋等を使用して避難するかなど、その場の咄嗟の判断の両方が必要となることが分かった。」「救助袋で垂直に降りて避難する方法は初めて見たが、降りるのは難しそうでその訓練も必要だと思った。」旨、報告があった。

### 2 議題

#### (1) 音声応答転送装置の拡充について

総務部長から、昨年10月から試行運用している音声応答転送装置について、新たに運転免許試験課と10警察署を運用を拡充し、全警察署に音声応答転送装置の整備が完了する旨、報告があった。

また、先行導入所属の検証の結果、趣旨不明な架電や不要不急の架電の減少と電話交換業務の負担軽減に繋がり緊急性の高い事案等に対する警察力の強化に繋がった旨、説明があった。なお、拡充に併せて、転送件数が多いガイダンスの順番を繰り上げたり、多数電話交換に繋がった内容については新たな音声ガイダンスを増やす等して対応していく旨、説明があった。

委員から「警察本部で約9万件の総着信件数のうち、約8万件が電話交換室へ繋がることとなったので、電話交換へ繋ぐ内容を精査して音声ガイダンスの内容を変更していくということで良いか。」旨、質問があり、総務部長から「そのとおりである。」旨、回答があった。

委員から、「総着信件数が半減しており、必要なところに人的リソースを配分していただくのは大切なことであり、よろしく願う。」旨、発言があった。

## (2) 京都府大学安全・安心推進協議会総会の開催について

生活安全部長から、大学生の街である京都において、平成25年に交通部と合同で立ち上げた「京都府大学安全・安心推進協議会」の令和7年度総会を本年9月9日、京都ガーデンパレスにおいて開催する旨、報告があった。

府内の大学等の担当者や行政関係者、警察関係者等の出席で開催するもので、大学生を取り巻く犯罪及び交通情勢について説明する予定のほか、警察庁の職員による「大学生と各種犯罪情勢」と題して学生が巻き込まれやすい問題等の防止策や留意点について講演予定である旨、説明があった。

委員から、「なかなか実効性が難しいが、継続して粘り強く発信して欲しい」旨、発言があった。

## (3) 令和7年度全国通信指令・無線通話技能競技会（予選）への出場について

地域部長から、本年9月10日、警察大学校で開催される令和7年度全国通信指令・無線通話技能競技会（予選）へ出場する旨、報告があった。

予選出場チームは、中小規模府県警察及び皇宮警察の計39チームで、4グループに分かれて予選を行い、各グループの上位2チームが10月9日に開催される本選に進出する旨、説明があった。

委員から、「昨年訓練の様子を視察させていただいた。今年も良い成績となりますよう訓練に励んでいただきたい。」旨、発言があった。

## (4) 多額窃盗（空き巣）事件の被疑者グループの検挙について

刑事部長から、捜査第三課、伏見警察署、下鴨警察署及び北警察署の合同捜査班は、本年3月、伏見区内で発生した多額窃盗事件の被疑者3人を本年8月21日、検挙した旨、報告があった。

委員から、「被害者宅の情報がどのように流出しているのかを含めて、しっかり捜査をしていただきたい。」旨、発言があった。

## (5) 「令和7年秋の全国交通安全運動」の実施について

交通部長から、本年9月21日から同月30日までの10日間、「令和7年秋の全国交通安全運動」を実施する旨、報告があった。

「紅葉の手 笑顔で止まる 京の道」をスローガンに、期間中、歩行者保護、ながら運転、飲酒運転の根絶、自転車・特定小型原動機付自転車のルール遵守に重点をおいて交通安全運動に取り組むこと、また、小学校を核とした安全施策の展開を図り、交通安全運動の機運を盛り上げていきたいと考えている旨、説明があった。

委員から、「4月から自転車の反則通告制度が始まるという中で、運転免許を持たない自転車利用者も多数いることから、自転車の交通ルールの理解を広めるというのは大切だと思う。」旨、発言があった。

## (6) 天皇皇后両陛下の行幸啓に伴う警衛警備の実施について

警備部長から、本年10月5日に国立京都国際会館で開催されるSTSフォーラム第22回年次総会開会式等による天皇皇后両陛下の行幸啓に伴い、所要の警衛警護を実施する旨、報告があった。

委員から、「警衛警備に万全を期していただくようよろしく願う。」旨、発言があった。

## 3 追加報告

### 市バスに対する自転車の接触なきひき逃げ事件の発生について

交通部長から、本年7月23日、京都市上京区内の市道で、歩道から車道に進出した自転車との衝突を避けるため、市バスが急ブレーキをかけたことにより、車内転倒した乗客が骨折した事故についての新聞報道を受け、市バスとの接触がなかったが、因果関係の事故として自転車の運転手について道路交通法違反（ひき逃げ）等の疑いで捜査中である旨、報告があった。

委員から、「今回自転車は接触していないものの、ひき逃げ事件として捜査することは、社会的な警鐘を鳴らす意味でも意義があると思う。」旨、発言があった。

## 4 聴聞等

### 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、24件の行政処分を審議した。

## 5 個別決裁

### (1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（1件）

監察官室訟務官から、運転免許の取消し処分を受けた者（1件1名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

### (2) 特定抗争指定暴力団等（六代目山口組・絆會）の指定期限の延長について

捜査第四課暴力団指定・規制担当補佐から、指定暴力団六代目山口組及び指定暴力団絆會を特定抗争指定暴力団等として指定期限を延長する必要性について説明があり、審議の上、延長を決定した。

### (3) 令和7年度信号機の撤去計画について

交通規制課交通安全施設担当補佐から、令和7年度信号機の撤去計画について説明があり、審議の上、決定した。

### (4) 公安委員会宛て苦情について（受理1件、処理2件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情申出に関して受理1件の報告があり、処理方針を決定するとともに、受理した公安委員会宛ての苦情申出2件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

## 6 個別報告

### (1) 人事案件

警務部長から、人事案件について報告があった。

**(2) 公益通報（外部通報）の措置結果について**

広報応接課広聴・相談担当補佐から、令和6年12月11日付けで受理した公益通報（外部通報）について、本年8月21日、事件送致（送付）した旨、報告があった。

**(3) 基本計画にかかる公表資料の修正について**

事務管理課主席調査官から、令和6年度「全ての職員が活躍できる京都府警察の構築に向けた基本計画」の検証結果について、係長級に占める女性の割合に修正があった旨、報告があった。

**(4) 宇治警察署新庁舎建設費の増額について（9月補正予算）**

会計課長から、令和9年度の竣工に向けて建替整備中の宇治警察署について、労務単価、建設資材単価の上昇に伴うインフレスライド条項の適用により、9月定例会において主体工事の建設費の増額を上程する旨、報告があった。

**(5) サイバー人材の確保と育成について（質疑応答）**

サイバー企画課担当補佐から、近畿管区内公安委員会連絡会議第150回定例会議の討議テーマであるサイバー人材の確保に向けた取組状況とサイバー人材の育成の現状について報告があった。

**(6) 当面の行事予定等について**

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。